

10203織物業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	8~9	工場倉庫前でトラックの運転台から降りるとき、バランスを崩して倒れそうになったのを無理に踏みとどまろうとしたため、右膝に過大な捻りの荷重がかかり、右膝を捻挫した。	60	2	221	1~9
2	2017	11	11~12	本人は工場において原料混綿作業をしていたところ（原料混綿場4m×4m）において、繊維を積み上げ混綿が終了した後、高さ2mの所から降りようと、脚立に足を掛けたが足を踏み外し足から落下し腰を打ち、左足踵を骨折した。	66	1	371	30~49
3	2017	11	13~14	織機の右端にある糸巻のカバーの上に埃が溜まっているのを払おうと織機に足かけ（1m程の高さ）昇り、埃を払って、床に足を戻そうとした時、足の先と床との感覚が合わず、そのまま床に転げ落ちた。腰部を強打して立ち上がれず、救急車で病院へ搬送した。	61	1	169	1~9
4	2017	9	10~11	箆入れ作業中、タテ糸を巻き付けた平板をローラーとローラーの間に置いて足の寸進スイッチで送り込む作業中、誤って右手をいっしょに挟んでしまい、右手人差し指を圧迫した。	36	7	121	50~99
5	2017	8	10~11	ミシンでタオル生地ของ繋ぎ縫製中、ミシン糸が切れたため、ミシン針に糸を通す作業中に誤って、ミシン下部のペダル式スイッチを踏んでしまい、ミシンが稼働したときに対応が遅れて、左示指に針が刺さった。	26	9	169	50~99
				第8工場において、織機の修理のため、タイミングベルトを交換				100

6	2017	8	16~ 17	後、ギアとベルトの合わせ調整の際、ベルトに当て板をして寸動しギアを動かすところを、当て板をせずに動かしたため、ギアとベルトの間に右手が挟まった。	56	7	169	~ 299
7	2017	7	16~17	事業所内での作業にて織布場通過においてビームを所定位置に移動しおろした際にビームが滑り、止めようとした時に左足指先がビームに挟まり左足親指と人差し指を骨折したものである。	23	7	362	50 ~ 99
8	2017	7	16~17	燃糸工場1階において第一発見者が、不要糸捲返し機前でしゃがんで作業している被災者を確認。約5分後、再度見ると被災者がその場に倒れていた。問いかけても反応がなかったので燃糸工場2階に上がり、応援と救急への連絡を依頼。その後少し問いかけに頷く程度の反応が出た。	68	99	999	100 ~ 299
9	2017	7	9~10	第一織布課の第2現場で、糸のパレットがばらしてあった。その梱包用の紐が片付けておらず道路にはみ出していた。歩行時、その紐に足をとられて転倒し右足の皿を骨折した。	39	2	417	100 ~ 299
10	2017	4	14~ 15	本社工場内にて、工程作業を終えて場内を移動中、置いていた段ボール箱につまずいて前方へ倒れ、手をついたときに右腕を脱臼した。	67	2	417	50 ~ 99
11	2017	3	10~11	段差がある作業所の入口で、タオルを積んでいる台車を押していて重かったので左足を台車にかけて踏ん張った時、2回プチプチと音がしてアキレス腱が切れた。	64	19	362	10 ~ 29
12	2017	3	21~22	工場内製織作業中、誤って機械に手を挟んでしまい、右手親指・人差し指・中指・薬指を負傷した。	44	7	169	10 ~ 29
13	2017	3	16~17	工場の中央機付近にて、次の仕掛け作業（8号機）に入るため通路を小走りで移動中、通路にはみ出していたカゴの角に足が当たり、体勢を崩して転倒した。その際に右手が体の下に入り、右手甲（親指）と右手人差し指を負傷した。	62	2	417	100 ~ 299

14	2017	2	12~13	工場2階の階段の踊り場付近で3階から1階への移動中に最後の段を踏み外し、転倒した。その際に左足首を損傷した。	42	1	413	1~9
15	2017	2	11~12	テント倉庫で、別の作業員が運転するフォークリフトの転回範囲内で運転のアドバイスをしていた。その際、急に右旋回したフォークリフト後部にぶつかり転倒し、更にその上にフォークリフトの後輪が乗っかり、両脚を轢かれた。	67	7	222	50~99
16	2016	12	18~19	巻き取り工程の紙管セット後の起き上がり動作において、足の力のみで起き上がり背中を反らした時に右足のふくらはぎが肉ばなれとなる。	49	19	921	30~49
17	2016	12	9~10	縦継ぎビームをホイストクレーンで上ビームに載せ終わった後、ビームを持ち上げる為のアームバーを台車で片づける際、きちんと安定した状態で載っているものと思い、台車に手を掛けたところ、アームバーが動いて台車のローラーとアームの間に左人差し指が挟まり、爪部分を負傷した。	43	7	362	30~49
18	2016	11	9~10	工場内を歩いている、鉄板につまずき転倒し、右肩を打った。	66	2	417	30~49
19	2016	10	16~17	織機が止まって見本を取る為に巻き棒から見本を取って、残りの布を巻き棒から外す為に布を外していたら、誤って約6kgの巻き棒が右足に落下して、指を負傷した。	64	4	169	10~29
20	2016	9	13~14	工場の合撚機で作業台車に乗り、運転後のワッシャー点検を行っていた際、糸クリールの棒を持って横移動している途中、体のバランスを崩し台車から落下した。その際、左腕を床に打ちつけた。	48	1	379	100~299
21	2016	8	15~16	工場内で、レースが不良品になってしまったので直していたところ、左手の人差し指の爪がはがれてしまった。	64	7	169	10~29

22	2016	7	13~ 14	製品倉庫に於いて、3m程の高さの棚上に置いてある反物を2人で取り出していた。一人は移動式ハシゴに登り、一人は下で受け取る段取りであったが、ハシゴに登っていた者が、製品取り出し中、手が滑り、バランスを崩し、足で着地したが、その衝撃により、左足を骨折した。	49	1	371	1~ 9
23	2016	7	1~2	運搬車を後ろ引きしていた際に右足がもつれ、転倒し、踏み台の端に背中をぶつけた。	60	2	417	100 ~ 299
24	2016	6	10~ 11	工場内、布延伸加工機にて、布のロール上側のシワを伸ばす作業中、下側のロールとの間に左手をはさみ込んでしまい、左手中指、人差指の指先を負傷した。	39	7	163	30 ~ 49
25	2016	6	18~ 19	業務終了後、徒歩で帰宅時に敷地内のアスファルトの段差に右足をとられ挫き、転倒して右足首部分を痛めた。	37	2	417	100 ~ 299
26	2016	5	13~ 14	工場に於いて、糸巻管を手洗い場に於いて、水付け作業をしていたが、その水が床面にこぼれ、足元がすべり転倒した。とっさに左手首をついたところ骨折した。	62	2	417	10 ~ 29
27	2016	3	15~ 16	自動マシンを調整中に、高さ15~20cm位の踏み台から右足をすべらせて落下した。	73	1	416	10 ~ 29
28	2016	3	18~ 19	編機の裏で脚立を使い糊付作業後の糸の整理中バランスを崩し、脚立ごと転倒。その際、腰を打撲。	22	1	371	10 ~ 29
29	2016	2	21~ 22	トイレに入った処、左足がすべって便器内に落ち便器の上の部分に左膝が当たり打撲骨折した。	19	2	418	10 ~ 29
			14~	クリップ掃除終了後、テンター作動目視確認中、クリップのご				100

30	2015	12	15	みを除去するため右手をテンター部分に入れ、右手人差し指がはさまれた。	47	7	169	～ 299
31	2015	11	16～ 17	織機の停止後、再稼働させようとした時、左手の中指と人差し指で糸を掴みながら運転ボタンを押した際に、織機のヘッドが直撃して負傷した。	55	7	169	10 ～ 29
32	2015	11	10～ 11	織機の運転の実習中に、手順を守らずに手を入れてしまった。	38	7	169	30 ～ 49
33	2015	10	10～ 11	工場において、サイザー切替後時間的余裕があったため、指示がないのに継ぎ糸用コマに巻いてある糸をカマで切っている最中、糸がきつく巻かれていたため、カマが滑り、左手のひらを切った。	20	8	364	100 ～ 299
34	2015	9	13～ 14	工場内通路を空のカゴテナーをハンドパレッターで引いて運搬中に、先を曲がるためにカゴテナーが通路からはみ出さないように確認すべく、後ろを向いた時、床面にたれていたプラスチックチェーンを踏んでしまい、足が滑って転倒した。	63	2	417	100 ～ 299
35	2015	8	10～ 11	整経工場で、整経機に巻き付けた糸をビームに巻き取る作業中に巻き返し機とビームとの接続部分の金具に巻き込まれた。	41	7	121	50 ～ 99
36	2015	6	16～ 17	原糸束を専用加工機の水タンクにつけて収束加工程で余剰水分を上下2本のゴムローラーの接圧で絞り作業中、原糸の束の状態を修正中にゴムローラーに巻き込まれて左手小指の内側を裂傷した。	43	7	163	30 ～ 49
37	2015	6	20～ 21	織機から製品を降ろす際、プレスをはずす時、本人の不注意で、フックをかけずに支柱をはずした為、プレスローラーが落下し、右足の甲及び親指を中心とする指全体を負傷した。	32	4	169	10 ～ 29
			11～	ヒートカッターの調整をしようとしたところ、稼働したまま				10

38	2015	6	12	行ったため、テンプレブラケットとスレーに取り付けたニードルガイドホルダの間に左手を挟み骨折した。	36	7	169	～ 29
39	2015	6	14～ 15	倉庫でスワッチ（生地の見本）を作成している時に、裁断機で生地を細かく裁断、終了後スイッチを切り（大元の電源は切っていない）、完全に停止していない状態で裁断機の確認をしている時に、右手を刃の下へ置いてしまい、右中指を負傷。	45	8	169	50 ～ 99
40	2015	5	11～ 12	検反場で紙管の芯棒（鉄棒）を移動させる際に鉄の棒を持ったまま転び、右手親指を機械に打ち裂傷出血し、骨折した。	73	2	417	1～ 9
41	2015	4	13～ 14	検反台から振りたたまれた反物（織物）1反（約13kg）を運ぼうとした時、脚立の足部分に左足を引掛けてしまい、つまずいて転倒した。	64	2	417	100 ～ 299
42	2015	4	9～ 10	工場内織場にて製品を織っている最中に、糸替えの為、足元にある糸を取ろうとして手を伸したところ腰がギクツとなり、そのままその場に倒れこんで動けなくなった。	34	19	921	10 ～ 29
43	2015	3	17～ 18	織り上がったタオル反物を背負い、移動させようとした時に足が滑り転倒し、その際に床面へ左肩を強く打ちつけ負傷した。	66	2	417	30 ～ 49
44	2015	3	11～ 12	工場内にてクレーンで持ち上げられたビームを編み機にセットする為に箱の上に乗って作業をしていた時、バランスを崩してしまい、落下して下にある機械に腰を強打した。	34	1	379	1～ 9
45	2015	2	17～ 18	自分の持ち台ミシンでヘム縫い作業中タオルケットをミシン台に乗せようとしてかぶせていた布に足がからんで転倒して右手首を骨折。	64	2	379	30 ～ 49
46	2015	2	8～9	織布の為の準備工程、原糸を1本から2本、3本に合せる合糸機の作業において、始業時間8時から機械に運転スイッチを入れた時、巻取りドラムが廻り始めた時、左手の指がそのドラムに触れ、負傷した。	39	7	169	30 ～ 49



55	2014	10	13～ 14	不織布を製造する工程で、原反シートを通す作業中に、シートを左手に持ちローラーの間隙約10ミリに通すために右手で上部ゴムローラーをまわしたところ30m/minで回転していた下メタルローラーに左手首まで巻き込まれて負傷した。	27	7	163	50 ～ 99
56	2014	10	13～ 14	工場内にて通常作業でおこなっている荷物運搬作業において、被災者の足がもつれて尻もちをつき被災した。	62	2	611	100 ～ 299
57	2014	9	10～ 11	シルケット加工機上部に設置された、集塵機のダストボックス内を清掃中に、足場に取り付けている塩ビ透明板を踏み抜き、約3mの高さから落下し負傷した。	25	1	419	50 ～ 99
58	2014	8	9～ 10	原友の解友作業中、原友の紙管に鉄パイプを通し、解友機にセットしようとして鉄パイプと解友機に右手中指が挟まった。	65	7	169	100 ～ 299
59	2014	7	7～8	出社の際会社の入口の踊り場にて、誤って左足を挫き、ヒビが入った。	22	2	417	10 ～ 29
60	2014	4	11～ 12	タオルプリント工場において、タオルのプリント後の乾燥機の前でタオルを架ける金具の側の縁石（高さ10cm程）に躓き転倒。その際に高さ20cm程の金具で胸部を打ち、肋骨骨折した。	41	2	391	50 ～ 99
61	2014	4	9～ 10	織機にビーム（引き込みした経糸）をのせた後、ビームキャリア（ビーム運搬用の電動台車）を後退中にビームキャリアのハンドルと壁に立てかけてあった木材に左肘を挟んだ。	34	7	229	30 ～ 49
62	2014	3	15～ 16	編み針製造現場で集ジン設備のダクトホースを天井より吊る作業を脚立の上に乗って作業中、脚立のストッパーが外れて脚立が開き、2m位から落下し右足を骨折した。	35	1	371	50 ～ 99
63	2014	3	13～ 14	工場内で作業中、床の段差につまずき足を捻挫した。	45	2	417	10 ～



									29
64	2014	2	17～ 18	工場の倉庫内で出荷作業時に、商品を取ろうとして踏み台から転落した。	63	1	371		1～ 9
65	2014	1	10～ 11	工場内でナイロンテープをテープ用ヒートカット機でカット中、テープがカット刃の手前で引っ掛かったためそれを直そうとつい手を入れてしまい、降りて来た刃で両手人差指を切断した。	37	8	169		1～ 9
66	2014	1	11～ 12	織物を熱で安定化させる機械（ヒートセッター）に織物をセッティングして稼働し始めたところ、織物の耳折れに気付いたため回転しているキーピングローラー部に右手を伸ばし手直ししようとして、機械に右手を巻き込まれた。危険表示、進入防止柵、センサー等、常設していたにも係わらず、手直し位置など指導・指示通りに作業を行わなかったことが原因で発生したもの。	22	7	169		100 ～ 299
67	2013	12	13～ 14	あみ針の製造現場にて機械の調整中、駆動シリンダーのストッパーに中指を挟み、爪を剥がし、指先の一部を欠損した。	48	7	159		50 ～ 99
68	2013	11	12～ 13	照明の点いていない通路を歩行した際、製品を入れる金属カゴに躓き、機械レバー部分に手首を強打した。	40	2	379		50 ～ 99
69	2013	9	16～ 17	2階の機械室から降りる際、階段から足を踏み外し、手すりを掴んだところ、肩を痛めた。	33	19	413		30 ～ 49
70	2013	9	9～ 10	ニッパの調整を確認しようと検反台から降りる際、検反機の横に立ててあったアクリル板が転倒し、アクリル板に足が乗っかり、転倒し、肩を床に強打した。	64	1	371		10 ～ 29
			12～	加工工場内にて、毛焼1号機のチェーンについた重りを外してい					100

71	2013	8	13	た際、重りが見た目以上に重く、手で支えきれず、手の下のギアと重りで挟まれ、手を骨折した（重りは約50kg）。	40	7	391	～ 299
72	2013	7	9～ 10	両手にタオルを持ち、作業場に戻る際、床がぬれていたため、滑り、膝を床につき、骨折した。	70	2	416	10 ～ 29
73	2013	7	13～ 14	ビニールシートを取りに行く為、鉄板のスロープを登り、降りようとした際、サンダルが降雨により濡れていた為、足を滑らせ、踏み外し、転倒した。	61	2	413	10 ～ 29
74	2013	6	18～ 19	プレスローラーにて、3人1組で上側ローラーを手で回転させ、フェルト巻き替え作業を行っていた際、上側ローラーを支えていた金具が外れ、落下。被災者の手中指先端が下側ローラーとの間に挟まれた。	44	7	169	30 ～ 49
75	2013	6	15～ 16	織機の見廻り作業中、織機の汚れ防止ビニール製垂れ幕のバーに足が引っ掛かり、バランスを崩し、膝から床に転倒した。	61	2	169	10 ～ 29
76	2013	5	10～ 11	コンテナから荷物を降ろす作業中、ローラーの上を荷物を滑らせて荷物を降ろしていたが、倒れそうになった荷物を支えようと身を乗り出したところ、足がローラーの間にはさまり、足先を骨折した。	42	7	391	10 ～ 29
77	2013	5	21～ 22	延伸機にて、手で糸の流れを修正していた際、上下一対の最終ニップローラーに手小指を挟まれた。	53	7	163	30 ～ 49
78	2013	5	9～ 10	仕上糊剤をバケツに入れ、運搬したところ、腕に皮下出血をおこした。	64	19	529	10 ～ 29
79	2013	4	14～ 15	ドアのレール部分、敷居に足がつまずき、足の先が引っかかった状態で前に転倒し、アキレス腱を痛めた。	47	2	416	10 ～



				械がまだ動いており手中指の第一関節を挟まれ、腱が切れた。				49
89	2012	9	22～ 23	機械の清掃作業中、歯車のカバーが取り外してあった為、誤って手を入れ、手第3、4指を挟まれ負傷した。	61	7	169	1～ 9
90	2012	8	16～ 17	施設場内にて、大掃除の為、タオル織機の上に上がり、天井の埃を取っていた際、足を滑らせ、高さ約1.5mから落下し、土間で頭部、腰部を打ち負傷した。	41	1	169	10 ～ 29
91	2012	8	15～ 16	織機から鉄棒を外し、移動しようとした際、誤って落とし、足を負傷した。	70	4	521	1～ 9
92	2012	8	12～ 13	巻棒を運ぶ作業中、重ね置きしていた巻棒が崩れ、支えようとしたところ、手親指が挟まれ、第1指切創した。	69	4	529	30 ～ 49
93	2012	7	15～ 16	製品のサイズ変更のため3カ所にある刃を調整した際、変更する必要のない真中の刃は止めず、左側の刃を変更した後、回転している刃の下に潜り、右側に移動しようとしたところ、回転していた刃で背中を切創した。	28	8	169	10 ～ 29
94	2012	7	13～ 14	原糸を満載したカーゴラナーを工場へ搬入しようとする専用の電動昇降リフトに近づいた際、昇降テーブルが下がっていたため、引っぱっていたカーゴラナーを一旦停止させようとしたところ、惰性で停止させることが出来ず、足を踏み外し、カーゴラナーと共に47cm下に降りていた昇降テーブル上に落下した。	63	1	416	50 ～ 99
95	2012	6	8～9	工場内倉庫出入口付近でフォークリフトのアタッチメント取替作業の為停車させ後方に回った際、フォークリフトのサイドブレーキを掛け忘れたうえ、停車させた路面に傾斜があった為、フォークリフトが除々に後退し、被災者の足踵に右側後輪が乗り上げ骨折した。	62	7	222	100 ～ 299
			10～	プレス機で製品の加工中、足がつまづきバランスが崩れた際、				10

96	2012	6	11	プレス機の型刃の上に手をついて切創。その手を押さえようとして、小指も切創傷した。	61	2	416	～ 29
97	2012	5	13～ 14	織機の後部ビームスタンドに整経ビームを取り付けようとした際、台車に乗せてあった整経ビームを手で持ち上げたところ、腰に異常を感じた。	56	19	612	10 ～ 29
98	2012	5	9～ 10	製品を粉碎中、誤って製品取出機の下降する位置に顔を出し、挟まれた。	53	7	162	30 ～ 49
99	2012	5	6～7	晒し綿シートが詰まり、ローラーに巻き付いた為、除去していた。シートをひいたところ、巻き付いたシートがゆるんだ為、1.5m下に落下し、腕を負傷した。	28	1	163	30 ～ 49
100	2012	4	8～9	生産中、中間コンベアに足を乗せ、不織布を水槽ネットから乾燥機下段に通した後、足をタラップに戻そうとした際、戻りきらず、回転していた中間のコンベアのバーの隙間の広いところに足が入り、膝下が曲がらなくなった。	25	7	224	10 ～ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。